

ポスト『京』で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題(案)についての 産業界意見

(7/4 発信:スーパーコンピューティング技術産業応用協議会内山田竹志運営委員長
から文部科学省小松親次郎研究振興局長へ提出)

6月19日に提示されました標記案につきまして、協議会内部で検討いたしました。

産業界の立場からは、「京」の戦略分野における「ものづくり」から、ポスト「京」では「産業競争力の強化」全体が1つのカテゴリに位置づけられたことにより、「京」およびポスト「京」の産業利用に拍車がかかるものと大いに期待を寄せるところです。

但し、以下の三点については再度のご検討をお願いしたいと考えております。

1. カテゴリ「産業競争力の強化」に対する意見

重点課題⑦「社会の発展を支える高機能物質・材料の創成」の事例は、殆どが半導体とハードマテリアル関係で占められ、素材産業の競争力強化に不可欠な機能性化学品の分野が欠落しております。「機能性化学品の研究開発」を課題に明記いただきたくお願いします。

また、重点課題⑧「近未来型ものづくりを先導する革新的設計プロセスの開発」ですが、ものづくりの革新では、設計のみならず、製造プロセスの革新が大きな要素となっており、製造コストを如何に抑えて短納期で製品を量産できるかが、産業競争力を左右いたします。そのため、「製造プロセスの革新」を課題に明記いただきたいと思います。

2. 成果創出に向けての産業界の関わり方

国民目線で「成果創出」を考えた場合、研究成果の発表に留まらず、その成果が我が国の国際競争力強化や国民へのサービスに反映され、社会に還元されることで初めて成果創出と認識されるものと思います。このため、(純粋科学や国家視点での環境・防災を除いた)全ての課題において、課題選定やアプリケーション研究開発の段階から、産業界としても深く関わらせていただき、産官学共同により成果創出に当たりたいと考えております。

5月30日に示されました「ポスト『京』におけるアプリケーション開発・研究開発推進体制」においては、成果の社会還元に向けた意見具申機関としての産業界の立場を明確にしていただきたく考えます。

3. ポスト「京」の早期実現と第二階層以下のあり方に関する議論の開始

産業界として、ポスト「京」は現在の計算資源では成し得ない実証実験のテストベッドであり、産業競争力維持の観点からも、一刻も早い実現を大いに期待するものであります。一方、その成果を発展させ、プロダクトランとして定期的にHPCを活用することで、真の意味での利活用を促進することを考えた場合、第二階層以下のHPCIシステムの具体的あり方も並行して議論し、両者の密接な連携を作る必要があると考えます。

従いまして、第二階層以下のあり方についても早期に議論を開始し、課題毎にポスト「京」と第二階層以下の連携のあるべき姿を検討していくことを提言いたします。

ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題とこれに関するアプリケーション研究開発体制、及びポスト「京」のシステムに関する意見交換会の開催

HPCI コンソーシアムは、ポスト「京」のアプリケーション開発及び必要なシステム構成について、国における報告書のとりまとめや評価に合うようにコミュニティの意見を集約し、提言とするため、HPCI コンソーシアム内に会員によって構成される「ポスト「京」のアプリケーション、システムに関する意見集約WG」を立ち上げる。意見交換会を平成26年7月4日に開催した。

さらにこれらの意見を盛り込んだ提言をとりまとめ、平成26年7月14日にポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題とこれに関するアプリケーション研究開発体制、及びポスト「京」のシステムについて提言を行った。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shinkou/035/attach/1350314.htm

第2回実行委員会国内外現状把握と事例収集・整備G会議開催報告

Gメンバー構成:小西主査、竹内委員、石田(雅)委員、佐藤委員、野田委員、松本委員、石田(邦)委員、岡野委員、滝本副委員長、伊藤委員長

平成26年7月14日(月)午後2時から午後3時まで、第2回実行委員会国内外現状把握と事例収集・整備G<打ち合わせ>会議を開催した。

本年度調査事業として、海外調査を外部専門機関にお願いするに当たり、限られた予算ではあるが、産応協の今後の活動全体に反映できるよう、進め方、内容などの確認を行った。産応協が期待するアウトプットは、昨年度実施した海外調査の結果と重複しないことを確認するとともに、今回は特に企業における利用事例の実態を把握することに重点を置くこととした。

- ・産応協としては、①参画企業に有用な情報を提供したい。②魅力的な情報発信を行うことにより参画企業を増加させたい。
- ・参画企業にとっては、①企業動向の把握、②社内におけるHPCの啓蒙

第4回タスクフォース開催概要報告<7/17>

ポスト『京』で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題(案)については、産応協における立ち位置としての産業界意見を平成26年7月4日付でスーパーコンピューティング技術産業応用協議会内山田竹志運営委員長から文部科学省小松親次郎研究振興局長へ提出した旨の報告があり、引き続き、第4回検討委員会の審議経過に注目していくこととした。

さらに取り巻くさまざまな活動環境の動き等に対し、注意深くウォッチングするとともに、適宜に情報共有を行い、対応を進めることとした。

また、タスクフォースの今後のあり方を含めて、前回までタスクリストの抽出整備を進め、アウトプットに向けたアクションプログラムのとりまとめ方(解決のための仕組み等)について議論等を行った。

第4回ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題についての検討会開催概要報告

・日時2014年7月24日(木)16時～18時00分

・会議概要:

- (1) 第3回委員会における委員からの主な意見等について
- (2) ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題について

第5回:平成26年8月20日(水)<最終>

○報告書のとりまとめ

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shinkou/035/shiryo/1348983.htm

第 10 回企画委員会開催議事報告(7/1)

- 第 14 回理事会開催報告:アドバイザーからの意見/コメントの共有
(平成 26 年度事業活動の中へこれら課題についての対応を積極的に展開する。)
- 第 2 回モノづくりをワークショップ開催報告/第 29 回スパコンセミナー開催報告
- タスクフォース活動報告:タスクリストの作成とアクションプログラムの整備
(産業界を代表して産応協からの情報発信を行う。)
- 文部科学省ポスト「京」で取り組むべき重点課題検討委員会報告と対応:ポスト「京」で重点的に取り組むべき社会的・科学的課題(案)についての意見整理
- HPCI コンソーシアム報告:第 2 期理事決定
(新理事長は藤井孝蔵氏、新副理事長に常行真司氏が就任、なお、産応協の代表として参加している笠 俊司氏は理事留任となった。)
- HPCI 産業利用懇談会の実施
(第一回を開催し、産業界の連携強化を確認した。)
- 平成 26 年度事業計画の推進:実行計画と予算の承認
- 第 7 回シンポジウム実施計画について:準備実行委員会の設置を承認
- 第 2 回企業トップセミナー実施計画について:実施の再考を踏まえて対応
- Web サイトのリニューアル/産応協案内パンフレットの作成:承認
(産応協からの情報発信と参加企業の勧誘展開を図る。)
- FOCAS「産業利用セミナー」後援/AICS「未来を拓くスーパーコンピュータ」後援:承認

産業利用セミナー開催報告:

これからの”モノづくり”を支えるコンピュータ・シミュレーションとは!

日 時: 平成26年7月24日(木)13:30~16:00

場 所: 神戸商工会議所 3階会議室(神戸市中央区港島中町6-1)

参加費: 無 料

対 象: 中堅・中小企業の経営者層など

参加者: 92 名

主 催: 神戸商工会議所、公益財団法人計算科学振興財団

後 援: 独立行政法人理化学研究所計算科学研究機構、兵庫県、神戸市、
公益社団法人関西経済連合会、スーパーコンピューティング技術産業応用協議会、
特定非営利活動法人CAE懇話会

プログラム

シミュレーション技術が切り開く成長への可能性

13:30-13:50 主催者講演:シミュレーション技術の産業利用促進活動について
~中堅・中小企業への裾野拡大~

公益財団法人科学技術振興財団 技術顧問 福田正大

13:50-14:30 基調講演:シミュレーションがモノづくりを強くする

川崎重工業株式会社 執行役員・技術開発本部 副本部長 河野行伸

企業事例紹介

15:00-15:30 事例発表 1:学校給食用”磁器食器”の強度向上シミュレーション

長崎県窯業技術センター 専門研究員 秋月俊彦

15:30-16:00 事例発表 2:新幹線用緊急脱出はしごの安全性シミュレーション

特殊梯子製作所株式会社 寺本之弘

第 10 回実行委員会開催議事報告(7/25)

平成 26 年度事業活動計画に基づいて、委員分担の確認を含めて課題対応への具体的な活動展開を図ることとした。

- ・第 7 回シンポジウム企画立案に向けて
シンポジウム準備実行委員会の設置と委員構成を確認。
次回企画委員会(8/19)までに実施概要計画案を作成提案。
⇒準備実行委員会メンバーで事前の整備を行う。(テーマ、候補等)
- ・第 30 回スパコンセミナー(10/22)開催の決定、企画立案の推進
テーマ:「LED 材料」/コーディネータ:石田(邦)委員
- ・オータムスクール 2014 企画立案に向けて
第 2 回オータムスクール 14(9 月予定、一泊 2 日)開催
コーディネータ:笠委員⇒実行計画の立案を担当グループで検討作成。(8/7 開催)
- ・課題事業活動の実施について
平成 26 年度活動担当について再確認し、グループ活動の活性化を図ることとした。
戦略シミュレーションソフトウェアの利活用モデル研究事業について委員相互の情報共有化を図るため、現状の推進工程確認を行った。
国内外事例収集委託調査の実施確認⇒今月末に実行。
アンケート調査/インタビュー調査ほかの進め方⇒調査項目案の作成にあたり各委員がそれぞれ担当から提案を行うこととした。(8/1 まで)

未来をひらくスーパーコンピュータ<講演会/展示のご案内> —「京」からその先へ 限りなき挑戦—

講演会[要申込]

期日:2014 年 8 月 23 日(土)10:00-16:00

会場:科学技術館サイエンスホール東京都千代田区北の丸公園 12-1 科学技術館 B2F

参加者:先着 350 名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

お申込み:http://www.aics.riken.jp/mi_rai2014/

展示[申込不要/入場無料]

期日:2014 年 8 月 23 日(土)・24 日(日)9:30-17:00*24 日は 16:00 まで

会場:科学技術館 展示・イベントホール 2 号館

主催:一般財団法人高度情報科学技術研究機構、独立行政法人理化学研究所計算科学研究機構

後援:文部科学省、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、公益社団法人経済同友会、一般社団法人 H P C I コンソーシアム、公益財団法人計算科学振興財団、産業用クラウドスパコン利用推進協力会、スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

今後の予定

8/7 H P C 産業利用スクールオータムスクール 14

8/19 第 5 回タスクフォース開催

8/19 第 11 回企画委員会開催

[産応協事務局]

事務局は「虎ノ門」に設けておりますので、お問い合わせをお待ちしております。

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

事務局 滝口、清

電話 03-6435-5425 Email:icscp@nifty.com